

信託法学会

創立総会および第1回大会記事

1 設立の企て かねてから、全国的規模を擁する「信託の理論と実際」とを総合的にしかも共同の場で研究・討議する機関として、その設立が要望されていた信託法学会は、四宮和夫氏を中心としながら、海原文雄、田中実、森泉章の各氏の間で、議がすすめられていたが、今年の内初め頃から漸く具体化し、上記の各氏に加えて、鴻常夫、河本一郎、小林桂吉、新堂幸司、菅原勝伴、菅原菊志、砂田卓士、曾野和明、竹内昭夫、田中英夫、谷口和平、田村諄之輔、戸田修三、戸塚登、蓮井良憲、林良平、堀切真一郎、本間輝雄、矢頭敏也の各氏23人を設立準備委員として、昭和51年4月設立準備委員会を開いた。その後、同年5月全国の諸学者に対して、設立趣意書、創立総会勧誘状、規約案等が発送された。

2 創立総会 昭和51年10月23日（土）午前10時から、東京・港区芝白金台にある白金迎賓館において、学者・実務家など約300名が参加して、創立総会が開催された。まず田中実氏を座長におして、同氏から設立経過の報告があった後、規約案の審議決定、役員（理事・監事）の候補推薦が行われた。その後、第1回役員会（理事会を兼ねる）が開かれ、理事長として四宮和夫氏を選出すると共に、常務理事として田中実・森泉章の両氏を選出した。再び創立総会が開かれ、四宮氏から会費、初年度の予算、そして、さらに、名誉会員・顧問の選出についての説明があり、別掲のとおり、決定された。

創立総会において決定された種々の事項は別掲のとおりである。

3 創立総会后、当学会の創立を記念して、「信託法50年の歩みと信託法学会の誕生について」と題して、大阪大学名誉教授の大阪谷公雄博士（商法・英米法）が、約1時間にわたって講演された。同博士は信託法の多くの問題点を指摘・解説され、熱心に聴き入る大勢の学会員に深い感銘を与えた。

4 記念講演の後、昼食時に懇親会が開かれ、四宮和夫理事長の挨拶に引き続き、大阪学院大学総長板橋菊松博士の乾杯、林良平理事・森田千賀三顧問の祝辞を頂き、盛大のうちに終わった。

5 第1回大会 懇親会の後、同日午後1時40分頃から下記のとおり研究発表が行われ、午後5時20分に散会した。

- 1 アメリカの労働諸立法と信託
九州大学教授 海原文雄
- 2 公益信託について
——財団法人との対比を中心に——
慶応義塾大学教授 田中実
三菱信託銀行 松本崇
- 3 担保附社債信託法と信託法・信託業法との調整
東京大学教授 鴻常夫

(研究報告の内容および討論の要旨については別に掲載されているから参照されたい)

- 6 現在の会員数は735名である。

(中野正俊記)